



平成28年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 物語コーポレーション

コード番号 3097 URL <http://www.monogatari.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO・COO (氏名) 加治 幸夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役・CFO・執行役員副社長 (氏名) 高津 徹也

TEL 0532-63-8001

四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年6月期第3四半期の連結業績(平成27年7月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第3四半期	28,950	17.6	1,865	42.3	2,058	25.4	1,082	34.6
27年6月期第3四半期	24,603	—	1,310	—	1,640	—	804	—

(注) 包括利益 28年6月期第3四半期 1,096百万円 (38.2%) 27年6月期第3四半期 793百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第3四半期	180.55	179.81
27年6月期第3四半期	134.24	133.69

(注) 平成27年6月期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年6月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年6月期第3四半期	22,701	11,302	49.7	1,880.50
27年6月期	19,354	10,506	54.2	1,751.18

(参考) 自己資本 28年6月期第3四半期 11,285百万円 27年6月期 10,499百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	25.00	—	28.00	53.00
28年6月期	—	25.00	—	—	—
28年6月期(予想)	—	—	—	30.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成27年6月期期末配当の内訳 普通配当25円00銭 記念配当3円00銭

3. 平成28年6月期の連結業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,786	16.0	2,590	32.1	2,950	22.5	1,436	14.2	239.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結結果計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年6月期3Q	6,002,082 株	27年6月期	5,996,682 株
28年6月期3Q	784 株	27年6月期	784 株
28年6月期3Q	5,997,838 株	27年6月期3Q	5,991,459 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善など全体としては緩やかな景気回復基調となりました。一方、中国をはじめとする新興国経済の下振れリスクに加え、年初からの株価の急落、円高推移、日銀のマイナス金利導入といった金融市場の影響により国内景気への影響が懸念されるなど、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

外食業界におきましては、人手不足による人件費関連コストの上昇や原材料価格の上昇に加え、個人の消費動向は所得の伸び悩みにより、依然として低迷し、一層厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは、郊外ロードサイドの好立地への積極的な出店を進めるとともに、既存店舗の積極的なリニューアル、新メニュー開発や期間限定商品の投入に加えて、商品の品質とサービスレベルの向上、販売促進活動など既存店舗の収益拡大に向けた施策より、各業態の魅力を高めることに努めて参りました。

また、自社製麺の安全及び衛生管理を強化する施策の一環として、自社工場「物語フードファクトリー」（愛知県小牧市）が、「愛知県HACCP導入施設」の認定を受けました。

店舗展開につきましては、当社が成長ブランドと位置付けている郊外ロードサイドタイプの「焼肉きんぐ」「寿司・しゃぶしゃぶ ゆず庵」を中心に出店し、グループ全体では35店舗（直営店〔国内〕18店舗、フランチャイズ店〔国内〕14店舗、海外3店舗）の出店、9店舗（直営店〔国内〕2店舗、フランチャイズ店〔国内〕4店舗、海外3店舗）の退店を実施した結果、当第3四半期連結累計期間末における当社グループ店舗数は359店舗（直営店〔国内〕184店舗、フランチャイズ店〔国内〕170店舗、海外5店舗）となりました（後掲表1）。

以上の結果により、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高28,950,969千円（前年同期比17.6%増）、営業利益1,865,202千円（前年同期比42.3%増）、経常利益2,058,158千円（前年同期比25.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,082,886千円（前年同期比34.6%増）となりました。

なお、当社グループにおいては、単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間における各部門の取り組み状況は、以下のとおりであります。

(焼肉部門)

新たな内外装をデザインした店舗フォーマット改善に取り組むとともに、積極的な出店を継続して行い、当連結累計期間中に18店舗の出店（直営店7店、フランチャイズ店11店）を実施しました。

以上の結果により、直営店の売上高16,606,428千円（前年同期比15.8%増）となりました。

(ラーメン部門)

顧客満足度と収益性を向上させる店舗運営力を高める取り組みを継続し、また「味噌肉そば」や「春いちごミニパフェ」を期間限定商品として提供し、当連結累計期間中に3店舗の出店（直営店2店、フランチャイズ店1店）を実施しました。

以上の結果により、直営店の売上高3,541,992千円（前年同期比4.7%増）となりました。

(お好み焼部門)

「熟成リブロースステーキ塊」という看板商品がセットになった食べ放題コースの改善に取り組み、当連結累計期間中に1店舗の出店（直営店1店）を実施しました。

以上の結果により、直営店の売上高1,970,265千円（前年同期比7.3%増）となりました。

(専門店部門)

「寿司・しゃぶしゃぶ ゆず庵」において、「寿司・豚しゃぶしゃぶコース 2,680円（税抜）」や「寿司・牛しゃぶしゃぶコース 2,980円（税抜）」の新設などランドメニューを大幅に変更し、同時にテレビコマーシャルによる集客強化を図るとともに、積極的な出店を継続して行い、当連結累計期間中に9店舗の出店（直営店7店、フランチャイズ店2店）を実施しました。

また、新業態として繁華街小型タイプのホルモン専門店「あみやきホルモン源の屋」を1店舗（直営店1店）出店しました。

以上の結果により、直営店の売上高3,726,298千円（前年同期比45.2%増）となりました。

(その他部門)

主に連結子会社である物語（上海）企業管理有限公司による取り組みとなります。売上高868,493千円（前年同期比56.0%増）となりました。

(フランチャイズ部門)

主にフランチャイズ加盟店舗からの売上ロイヤルティ・加盟金・業務受託料等となります。売上高2,237,489千円（前年同期比16.1%増）となりました。

表1 「部門別店舗数の状況」

（単位：店）

	直営（国内）	F C（国内）	海外	平成28年3月末 店舗数
焼肉部門	103	67	-	170
ラーメン部門	34	78	-	112
お好み焼部門	21	22	-	43
専門店部門	26	3	-	29
その他部門	-	-	5	5
合計	184	170	5	359

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は22,701,871千円となり、前連結会計年度末と比較して3,347,179千円の増加となりました。これは主に現金及び預金が1,069,327千円、設備投資による有形固定資産が1,548,312千円、新規出店用地の契約により差入保証金が404,308千円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は11,399,399千円となり、前連結会計年度末と比較して2,551,290千円の増加となりました。これは主に買掛金が499,784千円、第1回無担保社債の発行による社債が1,000,000千円、長期借入金が909,048千円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は11,302,472千円となり、前連結会計年度末と比較して795,889千円の増加となりました。これは主に利益剰余金が765,044千円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は49.7%（前連結会計年度末は54.2%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年6月期の通期の業績予想につきましては、平成27年8月10日に公表いたしました内容に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,766,513	5,835,840
売掛金	573,886	750,489
商品及び製品	202,938	209,436
原材料及び貯蔵品	56,027	61,773
その他	637,178	731,728
貸倒引当金	△178	△238
流動資産合計	6,236,366	7,589,029
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,689,282	9,217,113
その他(純額)	2,351,046	2,371,528
有形固定資産合計	10,040,329	11,588,642
無形固定資産		
	185,164	220,975
投資その他の資産		
差入保証金	2,437,741	2,842,049
その他	455,456	461,475
貸倒引当金	△365	△300
投資その他の資産合計	2,892,832	3,303,224
固定資産合計	13,118,326	15,112,842
資産合計	19,354,692	22,701,871
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,125,567	1,625,351
未払法人税等	645,402	236,560
株主優待引当金	22,467	29,219
賞与引当金	—	148,573
その他	3,165,361	3,402,368
流動負債合計	4,958,798	5,442,074
固定負債		
社債	—	1,000,000
長期借入金	2,536,202	3,445,250
役員退職慰労引当金	231,220	—
退職給付に係る負債	217,715	229,581
資産除去債務	182,987	224,761
その他	721,185	1,057,731
固定負債合計	3,889,310	5,957,324
負債合計	8,848,108	11,399,399
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,699,345	2,702,690
資本剰余金	2,572,196	2,575,541
利益剰余金	5,241,868	6,006,912
自己株式	△1,091	△1,091
株主資本合計	10,512,318	11,284,052
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,095	926
為替換算調整勘定	△20,665	△4,995
退職給付に係る調整累計額	6,153	5,502
その他の包括利益累計額合計	△12,416	1,433
新株予約権	6,682	16,986
純資産合計	10,506,583	11,302,472
負債純資産合計	19,354,692	22,701,871

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)
売上高	24,603,324	28,950,969
売上原価	8,359,120	10,072,335
売上総利益	16,244,203	18,878,633
販売費及び一般管理費	14,933,923	17,013,431
営業利益	1,310,279	1,865,202
営業外収益		
受取利息	11,231	13,616
受取配当金	88	102
協賛金収入	252,886	277,954
為替差益	77,929	—
その他	22,469	46,963
営業外収益合計	364,605	338,636
営業外費用		
支払利息	19,424	21,785
為替差損	—	98,435
その他	15,072	25,458
営業外費用合計	34,496	145,680
経常利益	1,640,388	2,058,158
特別利益		
補助金収入	20,830	—
特別利益合計	20,830	—
特別損失		
固定資産除却損	66,351	58,372
減損損失	—	62,855
システム開発中止に伴う損失	101,680	—
店舗閉鎖損失	11,335	79,404
役員退職慰労金	—	54,405
特別損失合計	179,367	255,037
税金等調整前四半期純利益	1,481,850	1,803,121
法人税等	677,562	720,235
四半期純利益	804,288	1,082,886
親会社株主に帰属する四半期純利益	804,288	1,082,886

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成27年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成28年3月31日)
四半期純利益	804,288	1,082,886
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,033	△1,168
為替換算調整勘定	△10,998	15,670
退職給付に係る調整額	△1,271	△650
その他の包括利益合計	△11,236	13,850
四半期包括利益	793,052	1,096,737
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	793,052	1,096,737

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は飲食店事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。